

2024. 6. 1

# 歴史民俗資料館だより No.154

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

## 戦時中のくらし展

会期 6月6日(木)～8月18日(日)

展示品 貨幣・紙幣・軍事郵便葉書・手製の教科書・大東亜戦争世界要図・旭日旗寄せ書き・防空頭巾・もんぺなど 約250点

昭和12(1937)年の日中戦争勃発以降、第2次世界大戦へと向かい、日本は、永い戦時体制へと突入していきました。

そして長崎は、昭和20(1945)年8月9日に原子爆弾が投下され、約24万人の市民の半数以上が死傷するという悲惨な被害を受けました。

その当時、人々は様々な統制を強いられ、「ほしがりません勝つまでは」と質素、倹約のくらしをしなければなりません。日常生活に必要な物も手に入りやすく、代用品や代用食がさかんにつくられました。

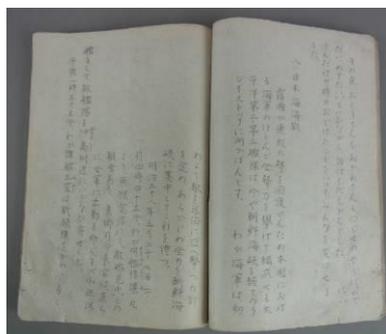
現在の豊かな生活と対比し、平和の尊さを考える機会として、このたび当館では「戦時中のくらし展」を開催いたします。

なお、今回の展示に際しまして、貴重な資料をご提供いただきました関係各位に深く御礼申し上げます。



紙芝居「踏切番と子供達」 昭和18年

踏切番と国民学校の子供達を通して、戦意高揚をはかっています。



### 手製の教科書

昭和20(1945)年に現物がなく、女学校の学生(13歳から14歳)が教師となり、小学6年生の教科書の挿絵を除き、1冊163頁全てを筆写したものです。



### 戦時郵便貯金切手

金貳圓 昭和18年



### 戦時貯蓄債券

金拾五圓 昭和19年

多額の戦費調達のために、政府は各種国債を発行しました。



### 防空頭巾ともんぺ

戦時中、空襲から頭部を保護するための防空頭巾と動きやすいもんぺは欠かせないものとなりました。



### 雑嚢・水筒

旧陸軍兵士の 30 キログラム以上の装備の内の一部です。



### 産 着

産着には、昭和 15 年に結ばれた日独伊三国同盟や戦争にちなだ図柄が描かれています。



### エマル消火弾・陶製防砂袋

昭和 19 年 8 月 11 日に、長崎は米軍の B29 爆撃機で初めて空襲を受けました。そして、これらの消火器具は各家庭に常備されました。



### 旭日旗寄せ書き

出征兵士のために、友人、関係者から武運長久を祈願して、寄せ書きされたものです。



### 大東亜戦争世界要図

独、伊、ソ、米、英各国の主要根拠地が記されています。そして、それらの国への日本軍の攻撃状況が記載されています。昭和 17 (1942) 年頃のもので、



### 野生食用植物図説集

昭和 17 (1942) 年、福岡県八女中学校鍋島與市教諭により、食用野生植物についての食べ方、薬効が説明されています。